



令和元年 12 月 23 日	
所 属	地域研究史料館
所属長	辻川 敦
電 話	06-6482-5246 (火曜休館)

『尼崎市史』を読む会中央図書館第 283 回例会
京都大学人文科学研究所教授・岩城卓二氏講演「村の文書」を開催します。

1 趣旨

平成 6 年（1994）以来開催を続けている『尼崎市史』を読む会は、現在、市制 90 周年記念『図説尼崎の歴史』と同 100 周年記念『たどる調べる尼崎の歴史』をテキストとする月例会を、市立中央図書館と北図書館を会場として実施しています。

令和 2 年（2020）1 月 9 日（木）に開催する中央図書館例会は、テキスト『たどる調べる尼崎の歴史』近世編の執筆者である京都大学人文科学研究所教授・岩城卓二（いわきたくじ）氏を講師に迎え、「村の文書」と題するご講演をいただきます。

この機会に、多くの市民のみなさんにご参加いただき、尼崎地域の歴史にふれ、学び、調べることに足を踏み出していただければと考えています。

2 『尼崎市史』を読む会 中央図書館第 283 回例会

日時：令和 2 年 1 月 9 日（木曜日）午後 6 時～7 時 30 分

会場：尼崎市立中央図書館セミナー室

尼崎市北城内 27、TEL06-6482-5244、FAX06-6481-2142

阪神電車尼崎駅下車 南東へ徒歩 5 分

講師：岩城卓二氏 京都大学人文科学研究所教授 日本近世史専攻

内容：特別講演「村の文書」

『たどる調べる尼崎の歴史』下巻第 3 部第 4 章「尼崎の近世」第 2 節史料編 2
「村の文書」に関連する講演です。

- 講演のポイント -

江戸時代、現尼崎市域は尼崎城下町と約 70 の村々から成り立っていました。これらの村は、それぞれが文書を作成し、尼崎藩などの領主とやりとりをしながら、村政の運営や農業経営、土地の管理等にあたっていました。

日本の基礎自治体としては数少ない市立文書館である地域研究史料館を設置する尼崎市は、約 70 の村々のうち 50 余りの村の古文書・近現代文書を保存し、整理・公開しています。この豊富な文書の山の中から、江戸時代の人々のどういった「生きた証（あかし）」を読み取ることができるのか、各地の古文書調査に携わって来られた岩城先生ならではの視点で、お話しいただきます。

3 参加方法 / 問い合わせ先

(1) 参加方法

申し込み不要。当日、午後 6 時までに会場の市立中央図書館セミナー室にお越しください。会場受付にて資料と引き替えにコピー代実費（100 円前後）をお支払いいただきます。

(2) 問い合わせ先

尼崎市立地域研究史料館

〒660-0881 尼崎市昭和通 2-7-16 尼崎市総合文化センター7 階

TEL06-6482-5246 FAX06-6482-5244

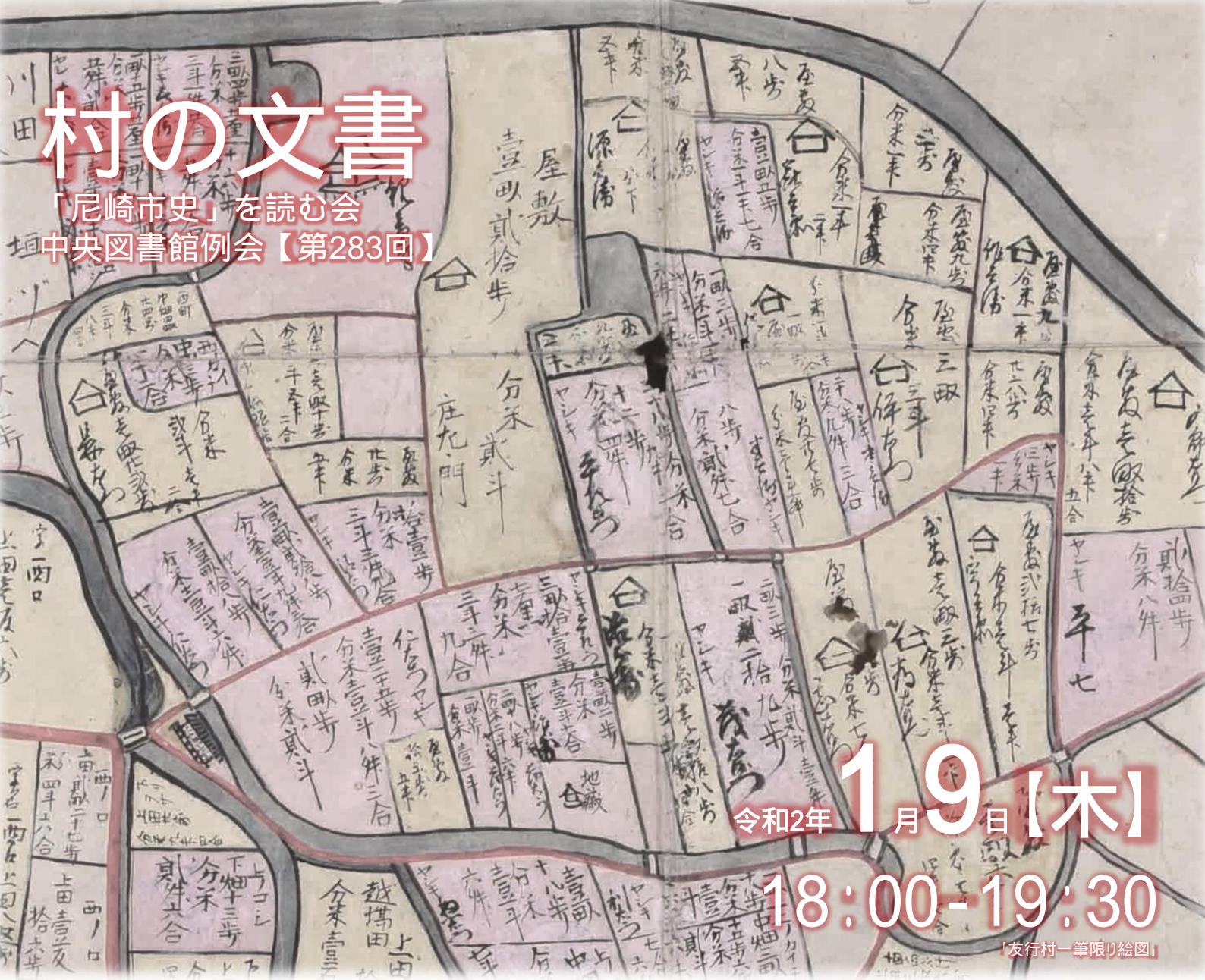
Mail : ama-chiiki-shiryokan@city.amagasaki.hyogo.jp

(火曜・祝日休館、年末年始は 12 月 29 日から 1 月 3 日まで休館しています)

以上

村の文書

「尼崎市史」を読む会
中央図書館例会【第283回】



令和2年 1月19日【木】
18:00-19:30
【友行村一筆限り絵図】

会場

中央図書館【セミナー室】

尼崎市北城内27 電話:06-6481-5244
阪神尼崎駅より南東徒歩約5分

『たどる調べる尼崎の歴史』下巻近世編第2節史料編の2「村の文書」(p86~89)にちなんだ特別講演です。江戸時代の尼崎の村はどのようなものだったのでしょうか。

参加方法 当日、直接会場にお越しください。
資料コピー代実費(100円程度)をいただきます。

お問い合わせ先

尼崎市立地域研究史料館 (火曜・休日休館)



06-6482-5246

尼崎市昭和通2-7-16 ファックス:06-6482-5244
MAIL: ama-chiiki-shiryokan@city.amagasaki.hyogo.jp

講師 岩城卓二さん

京都大学人文科学研究所教授
1963年生 日本近世史専攻
平成10年度より地域研究史料館
専門委員 おもな著書に『近世畿内・近国支配の構造』(柏書房2006)などがある。



「尼崎市史」を読む会は、平成6年に始まった、トピックごとによりわかりやすく尼崎地域の歴史を学ぶ講座です。中央図書館では平成29年9月から毎月第1木曜日に『たどる調べる尼崎の歴史』をテキストとした講座を開催しています。